



出産～
子育て期



NPO法人 エガリテ大手前
吉久保俊嗣さん

会社役員を辞め、NPO法人「エガリテ大手前」代表として男女共同参画の形成促進のためさまざまな活動を実施。自治体の次世代育成支援の推進状況を独自に調査し、TF、政策提言や講演などを行っている。

医療・保育施設が豊富。 優れた出産・子育て環境

安心して子どもを産み、育てるためには、地域社会の支援が欠かせない。産科医の不足や待機児童の増加などさまざまな問題が報じられている今、「都市の出産・子育て」にはどのようなメリットがあるのだろうか。

取材・文／櫻本一生(Sho) 写真／玉井科郎 イラスト／鈴木麻子



「子どもを産みやすい街」「育てやすい街」は？

少子化が叫ばれる昨今だが、状況は改善されつつある。厚生労働省発表の「人口動態統計」によると、2008年の全国出生数は1,872万人、出生率の1.25を記録した2005年を上回っ

ています。また、出生率の回復が顕著な地域は、男女共同参画社会の環境を自覚してさまざまな活動を展開するNPO法人「エガリテ大手前」代表の吉久保俊嗣さんは次のように語る。

「出生率が上がっているとはいえず、出生率を上げるより早く減少はまだまだ十分といえます。たしかに出生率は回復してきました。そのひとつが2003年に設立した次世代育成支援対策推進法です。より良い出産・子育て環境の整備を目的としたこの法律により、主人や自治体はその行動計画の進捗を義務づけられました。それらを調査して分かるとは、自治体によってその取り組むべき施策が異なることですが、

全国で一律に「子どもを産みやすい」ために、産科医が見つけられない「子どもを産むのが難しい」に、産科医が不足している「産後ケア」で入れない「子どもが産後ケアに出したから病院に行きたいけど、産後ケアに行きにくい」とい

「産後ケア」で入れない「子どもが産後ケアに出したから病院に行きたいけど、産後ケアに行きにくい」とい

「東京郊外のなかで総合的にもっとも優れているのは千代田区です。そもそも出生率が少ないというのではありません。出生率の低い区と比べると出生率が高い区、出生環境が整っている。待機児童率に比べて、保育所や学童クラブを含めて、数割にわたって0.5%を維持している。これは全国的に見ても珍しいことです。また、子ども1人当たりの市立保育所や私立認可保育所も郊外のなかでトップクラスです」

「東京郊外のなかで総合的にもっとも優れているのは千代田区です。そもそも出生率が少ないというのではありません。出生率の低い区と比べると出生率が高い区、出生環境が整っている。待機児童率に比べて、保育所や学童クラブを含めて、数割にわたって0.5%を維持している。これは全国的に見ても珍しいことです。また、子ども1人当たりの市立保育所や私立認可保育所も郊外のなかでトップクラスです」

「東京郊外のなかで総合的にもっとも優れているのは千代田区です。そもそも出生率が少ないというのではありません。出生率の低い区と比べると出生率が高い区、出生環境が整っている。待機児童率に比べて、保育所や学童クラブを含めて、数割にわたって0.5%を維持している。これは全国的に見ても珍しいことです。また、子ども1人当たりの市立保育所や私立認可保育所も郊外のなかでトップクラスです」

「東京郊外のなかで総合的にもっとも優れているのは千代田区です。そもそも出生率が少ないというのではありません。出生率の低い区と比べると出生率が高い区、出生環境が整っている。待機児童率に比べて、保育所や学童クラブを含めて、数割にわたって0.5%を維持している。これは全国的に見ても珍しいことです。また、子ども1人当たりの市立保育所や私立認可保育所も郊外のなかでトップクラスです」

「東京郊外のなかで総合的にもっとも優れているのは千代田区です。そもそも出生率が少ないというのではありません。出生率の低い区と比べると出生率が高い区、出生環境が整っている。待機児童率に比べて、保育所や学童クラブを含めて、数割にわたって0.5%を維持している。これは全国的に見ても珍しいことです。また、子ども1人当たりの市立保育所や私立認可保育所も郊外のなかでトップクラスです」

-1 出産

病院一般診療所数 (新生児1人あたり)

1位 千代田区 2位 中央区 3位 渋谷区

上記のランキングは新生児1人当たりの病院や一般診療所の数を示したものであるが、病院数では第2位を、1位千代田区、2位中央区、3位渋谷区という評価結果であった

助産所数 (新生児1人あたり)

1位 千代田区 2位 渋谷区 3位 新宿区

新生児1人当たりの助産所の数も千代田区は都心の区が上位を占めた。また助産所の数と地域への支援体制は自治体によってまちまちだが、都心の区は特に充実しているという

-2 保育

待機児童率 (0-4歳児6カ月)

1位 千代田区 2位 葛飾区 3位 渋谷区

公立の保育園が充実している千代田区では、2002年に23区で最も待機児童発生率ゼロを達成、現在もなお維持し続けている。次いで高いのが葛飾区0.02%、そして渋谷区0.1%であった

病院児保育定員数 (0-4歳児1人あたり)

1位 中央区 2位 千代田区 3位 品川区

病院児保育とは、病院の制度にある子どもを育保の施設で一時的に預かる保育のこと。その受け入れ体制は自治体によって異なるが、上記3区は他の区よりも定員数や施設数が比較的多い

-3 小児医療

夜間救急応急診療所数 (0-4歳児1人あたり)

1位 千代田区 2位 中央区 3位 台東区

保育に子どもが間に合わないとき……そんなとき、夜間救急にも対応する自治体指定の応急診療所が近くにないと心強い。その数も子ども1人当たりで換算すると、都心部は高い数値を示した

①施設は2005年のランキング、エガリテ大手前調べ。

②本誌として記すのは公開情報。③待機児童率、④地域児童福祉事業所調査、⑤厚生労働省「MOEの統計」特別調査結果は⑥